

## 第2学年 生活科学習指導案

期 日 平成15年10月24日(金)・27日(月)

児童数 花巻市立花巻小学校第2学年

1組 男15名女14名 計29名

2組 男15名女14名 計29名

指導者 佐藤いよ 稲垣舞子 近藤純一

### 1 単元名 「野菜パーティーをしよう」

### 2 単元設定の理由

#### (1) 教材観

本単元は、学習指導要領の内容(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心し、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする」と(7)「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする」ことをねらいとして設定した。

この単元では、春に植えた野菜を栽培してきた過程をふり返り、自分の気付きとしてまとめていく。栽培の過程で、枯れたりうまく成長できなかつたりした苦い経験や、種から芽が出たときの感動、収穫できた喜びなど、その成長や変化に対する気付き、生命をもっていることの気付き、自分とのかかわりに対する気付きなどが生じてきている。この活動をまとめることにより、植物にも命があること、その尊さすばらしさを感じ、生き物に対する親しみを深めることができることを考える。

また、季節による植物の成長やまわりの自然の変化を栽培の過程で感じ、収穫の喜びをお世話になった方々と共感し合うことは、四季による生活の変化を体全体で感じ、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようになるうえで重要であると考えられる。

#### (2) 児童観

今日、児童は身近な自然とふれあう機会が減ってきているが、幼児期からの成長過程で自然とふれあう体験や、季節とかかわって自分たちの生活を工夫する体験が重要であると考えられている。また、この時期の児童は、動植物に対して強い興味・関心を示し、何かのきっかけがあれば、それらとのかかわりは一気に深まっていく特徴がある。

しかし、本校の多くの児童は商店街に住み、田や畑がなく、農作業などを通して体全体で植物の成長と向き合った経験はほとんどない。

そこで、1年生の時にミニトマトを育て、収穫する活動をしてきた。この体験を通して児童は野菜に親しみをもちようになり、季節の変化による植物の成長に気付くことができるようになってきた。

2年生では、この活動をさらに発展させ、自分たちの育てたい野菜を選び、野菜先生(農業高校の生徒たち)に栽培方法を指導してもらいながら、教材園を利用し、様々な野菜を育てる活動を行ってきた。児童は、野菜を育てながら自然とかかわり、ふれあいを深める中でいろいろな課題を見つけ、それを解決しようとしてきた。この単元では、今までの活動をまとめ、収穫祭までの過程で、植物も自分たちと同じように成長していることに気付かせ、植物をはじめとする自然を大切にしていこうとする気持ちを育てるとともに、収穫の喜び、それと向き合う自分自身に気付かせていきたい。

#### (3) 指導観

「野菜作りのまとめをしよう」では、野菜の栽培を通して気付いたことを、自分のものとして絵や文章で表現させたい。ここでは、観察してきた記録カードやデジタルカメラの写真を目的

に応じて選択し、児童の創意工夫のもとまとめさせていきたい。

「秋野菜を収穫し料理をしよう」では、収穫した野菜を使ってカレーライス作りに挑戦していく。大きさの違うジャガイモや形の違うニンジン、小さな手を使って皮をむいたり切ったりするなどの経験を通して、自然に対する新たな気づきが生じるものと思われる。このような思いを大切にするとともに、野菜を栽培し収穫したことがこの調理につながっていることに気付かせ収穫の喜びをさらに高めていきたい。また、身近な人(家族など)から調理方法を聞いたり、友達と協力して作業をしたりするなど、人とのかわりを意識させ料理を完成させていきたい。

「野菜先生をお招きして収穫祭をしよう」では、野菜作りで苦しかったことや頑張ってきたこと、収穫したときの喜び、野菜に対する愛情、野菜先生達への感謝の気持ちなどをふり返り、野菜作りのまとめを表現できるよう支援していきたい。また、コンピュータでお世話になった野菜先生達に招待状を作ることで、情報活用の実践力の向上も図っていきたい。

### 3 単元の目標

#### (1) 生活科のねらい

< 関心・意欲・態度 >

- ・野菜の成長を喜びながら収穫しようとしている。
- ・友達と協力して野菜作りの活動をまとめようとしている。
- ・収穫祭を身近な人と楽しもうとしている。

< 思考・表現 >

- ・野菜のお世話を通して感じたことや楽しかったことを表現することができる。
- ・収穫した野菜の調理を楽しみながら行うことができる。
- ・安全に気をつけて調理器具を使うことができる。
- ・収穫の喜びを表し、自然や季節に関わる楽しみ方を工夫することができる。
- ・コンピュータを使って招待状を作ることができる。
- ・お世話になった方々に送る手紙を書くことができる。

< 気づき >

- ・野菜の収穫を祝って行う収穫祭の楽しさに気付いている。

#### (2) 単元を通して育てたい「情報教育目標リスト」の項目

< 情報の収集・判断 >

- ・事象やその変化の様子を観察等で調べることができる。(L )
- ・自分の好きな画像を収集することができる。(L )

< 表現 >

- ・自分の思いをお絵かきソフトを使って表現することができる。(L )
- ・日本語入力で簡単な文章を書くことができる。(L )

< メディアによるコミュニケーション >

- ・コンピュータを使って友達と仲良く作業をすることができる。(L )

< 情報手段の適切な活用 >

- ・コンピュータの基本的な操作ができる。(起動・終了・保存など)(L )
- ・基本的な入力(キーボード・マウス)、出力(プリンタ・モニタ)装置を使うことができる。(L )
- ・コンピュータを使って、自分の思いや考えを表現することができる。(L )
- ・デジタル機器を使って、画像をとることができる。(L )

< 情報モラル >

- ・コンピュータなどの情報機器を約束を守って使うことができる。(M )

4 単元の指導計画と評価基準(16時間)

学習活動	時間	評価基準や視点		努力を要する児童への支援
		関：生活への関心・意欲・態度 思：活動や体験についての思考・表現 気：身近な環境や自分についての気付き		
		おおむね達成	十分達成	
野菜作りのまとめをしよう	1～6	関：友達と協力して野菜作りの活動をまとめようとしている。	まとめ方の工夫を提案するなどよりよいまとめの作成に貢献している。	記録カードなどをもとに活動を振り返ってまとめるよう助言する。
		思：野菜のお世話を通して感じたことや楽しかったことを表現することができる。	野菜のお世話を通して、気付いた植物の成長の変化、植物にも命があること、尊さ、すばらしさを表現することができる。	
秋野菜を収穫し料理をしよう	7	関：野菜の成長を喜びながら、収穫しようとしている。	野菜の成長を喜びながら、野菜の形や大きさ手触りなど体全体で感じながら収穫することができる。	今までのお世話の結果が収穫につながっていることを話し、活動への意欲をもたせる。
	8～10	思：収穫した野菜の調理を楽しみながら行うことができる。	友達の調理を手伝うなど、自分の役割以上に活動に関わろうとしている。	みんなで協力することによって、初めて楽しくおいしい料理(会食)ができることに気付かせる。
		思：安全に気をつけて調理器具を使うことができる。	安全で上手に野菜の皮をむいたり切ったりすることができる。	安全な調理器具の使い方を実際に師範して見せる。
野菜先生をお招きして収穫祭をしよう	11	思：収穫の喜びを表し、自然や季節に関わる楽しみ方を工夫することができる。	自分の役割を果たし、収穫祭が楽しいものになるよう努力することができる。	みんなが楽しめる会にするためにはどんな工夫が必要か考えさせる。
	12～13 本時	思：お絵かきソフトを使って、野菜先生に送る招待状を作ることができる。	お絵かきソフトを使って、用紙いっぱい自分の思いを表現した招待状を作ることができる。	活動を振り返って心に残っていることを絵や文に表すよう助言する。
	14	思：お世話になった方々に送る手紙を書くことができる。	自分の気付き、感謝の気持ちを文章に表した手紙を書くことができる。	
	15～16	関：収穫祭を身近な人と楽しもうとしている。	体全体を使って、収穫祭の喜びを身近な人と楽しもうとしている。	今までの活動で頑張ったことなどを話しながら活動への意欲をもたせる。
気：野菜の収穫を祝って行う収穫祭の楽しさに気付いている。		野菜の成長と今までのお世話が収穫祭につながっていることを感想に表現する。	なぜ収穫祭をするのか想起させる。	

5 本時の指導(12/16～13/16)

(1) 本時のねらい

<生活科のねらい>

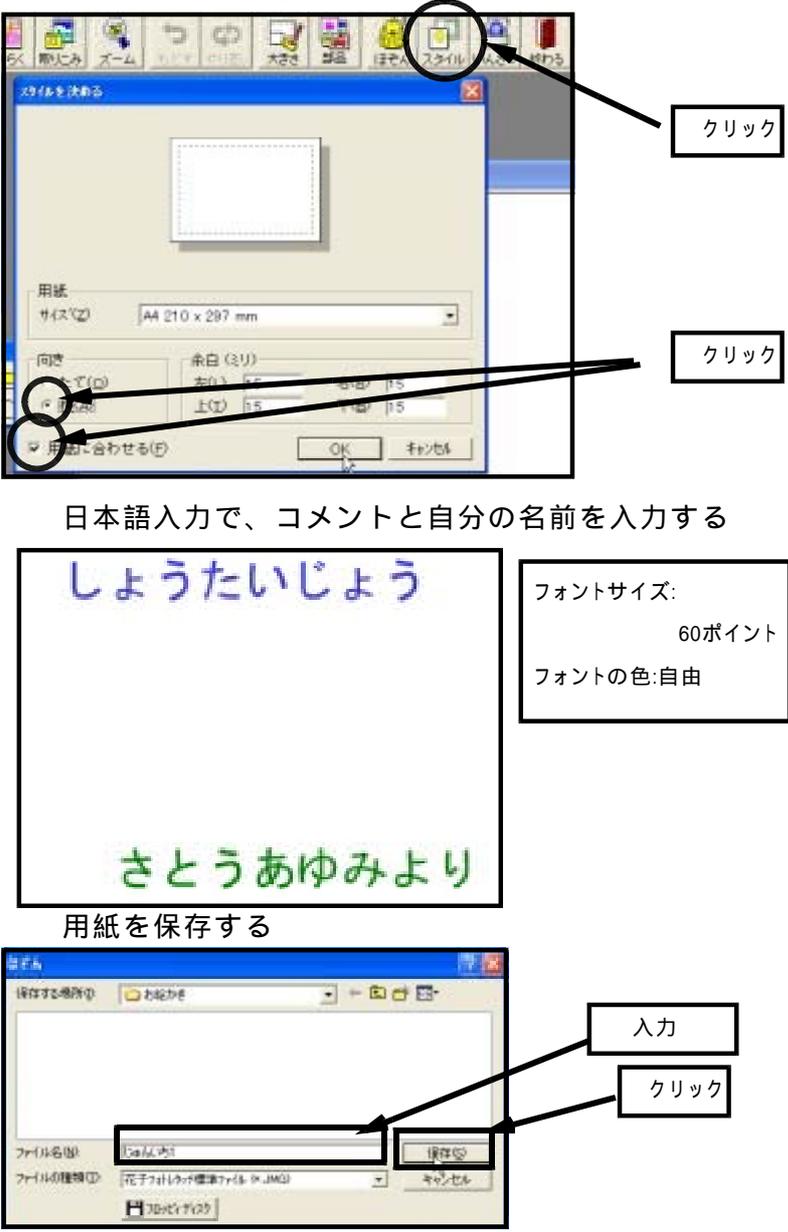
お絵かきソフトを使って、野菜先生に送る招待状を作ることができる。

<情報教育のねらい>

自分の思いをお絵かきソフトを使って表現することができる。(L、L)

コンピュータ室での約束を守り、友だちと協力して活動に取り組むことができる。(L、M)

(2) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点・評価	情報目標 リスト
<p>導入 5分 展開</p>	<p>1 本時の活動内容を把握する。</p> <p>やさい先生にしょうたいじょうを作ろう。</p> <p>2 スマイルペイントを起動し招待状を作る。 コンピュータ、スマイルペイントを起動する 用紙の設定を行う</p>  <p>日本語入力で、コメントと自分の名前を入力する</p> <p>フォントサイズ: 60ポイント フォントの色:自由</p> <p>用紙を保存する</p> <p>入力 クリック</p>	<p>前回の授業では、チェックを落としている児童が多かったので、友達同士で確認するなどして、正しくスタイルを設定させる。</p> <p>キーボードを使って、かなで入力する。</p>	<p>情報目標 リスト</p> <p>L</p> <p>M、Lについては、必要に応じて指導する。</p> <p>L L</p> <p><u>思 作品・ふり返り カード</u></p>



何を描くか思い浮かばない児童には、野菜作りの活動を振り返って心に残っていることを想起させそれを描くよう助言する。  
失敗してもやり直すことができるので、どんどん描くように働きかける。

60分  
終末25分

上書き保存し、印刷する(B5版で印刷は2枚)  
スマイルペイント、コンピュータを終了する

- 3 活動をふり返って本時の感想を書く。  
・ふり返りカードに記入し、感想を発表する

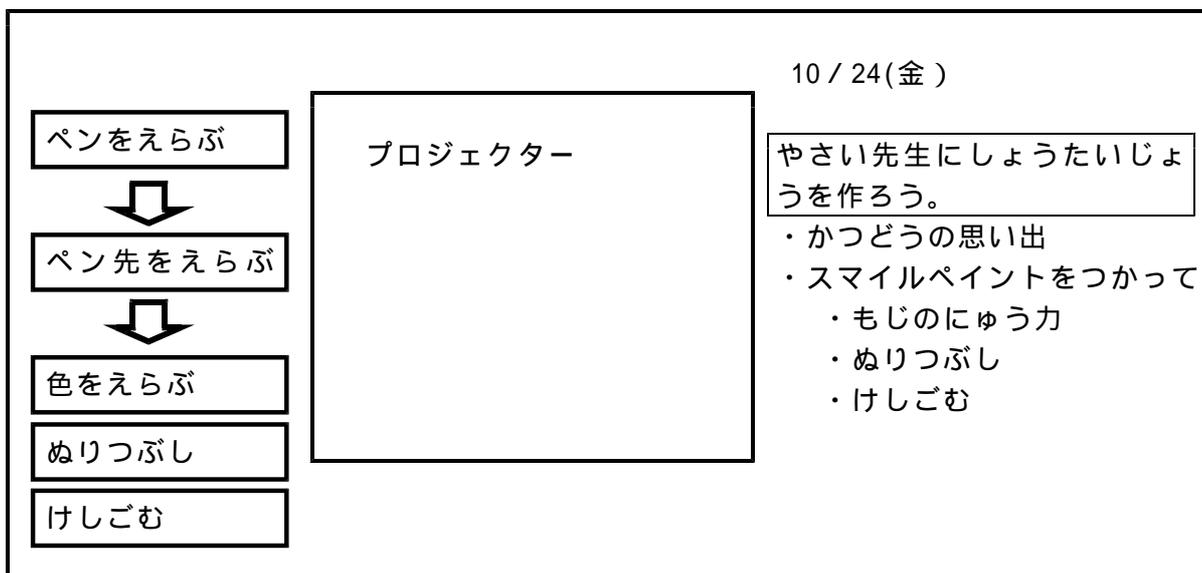
L  
L  
L

(3) 「情報目標リスト」にかかわる評価について

生活科のねらい「お絵かきソフトを使って、野菜先生に送る招待状を作ることができる。」が「おおむね達成」「十分達成」の場合、L、Lの項目を「おおむね達成」とみる。

L、Mは必要に応じて指導しながら児童の達成状況を把握し、今後の指導に生かしていくようにする。

(4) 板書計画



(4) 座席表

< 2年1組 >

	瀬川げんご	岩本よしゆき	新沼はづき

小原しんご	松田あゆみ	佐藤もも	

高橋なつき	高橋そら	佐藤りょうた	豊川みわ

大宮きょうじ	田村みゆう	小澤なるみ	佐藤せいや

高橋はるな	佐藤ゆうと	照井しょうた	久保田なつき

柏葉しゅん	古館かすみ	佐ゆきな	佐々木りゅう

	畑沢たすく	藤原しょうた	久保田あさみ

市原こうが	山内かな	佐藤ゆりか	平賀せいしろう

教 卓

< 2年2組 >

	水原えり	小野寺こうへい	菊地なな

茂内ゆうき	及川ゆうせい	小林りな	

小原りゅうせい	佐藤りさこ	澤口こまち	大川りょうが

岩間なるき	佐藤たまみ	松尾ゆう	安倍れな

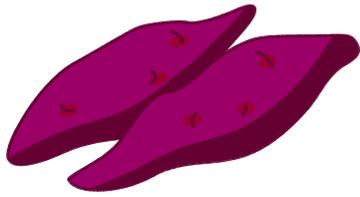
千田なつき	斎藤よしと	石川なおと	山崎みずも

大橋りゅうた	近藤あおい	坂本ゆうさく	佐藤こうき

	大原こうた	佐藤みさ	及川あつこ

望月あさみ	人首たくみ	菊池みさき	阿部れん

教 卓



# ふりかえりカード



	組	名まえ	
--	---	-----	--

きょうのお勉強をふりかえって、じぶんの考えにちかいものに をつけましょう。

1 やさい先生におくるしょうたいじょうの絵をうまくかくことができましたか。

- ア、うまくできた
- イ、だいたいうまくできた
- ウ、あまりうまくできなかった
- エ、うまくできなかった

2 スマイルペイントで絵をかくことができるようになりましたか。

- ア、かけるようになった
- イ、だいたいかけるようになった
- ウ、あまりかくことができない
- エ、かくことができない

3 きょうのべんきょうのかんそうを書きましょう。

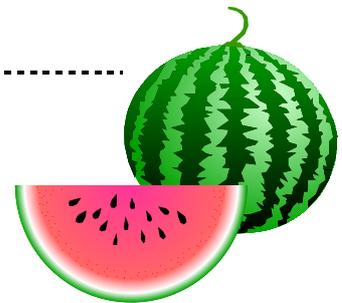
(わかったこと、できるようになったこと、たのしかったことなど)

.....

.....

.....

.....



< 作品例 1 >

< 表 >



< 表 >



< 裏 >

農業高校見学お礼の手紙	先生へ いつ 月 日 ( ) 時間 時 分 ばしょ 花巻小学校 もちもの
-------------	--

< 裏 >

農業高校見学お礼の手紙	先生へ いつ 月 日 ( ) 時間 時 分 ばしょ 花巻小学校 もちもの
-------------	--